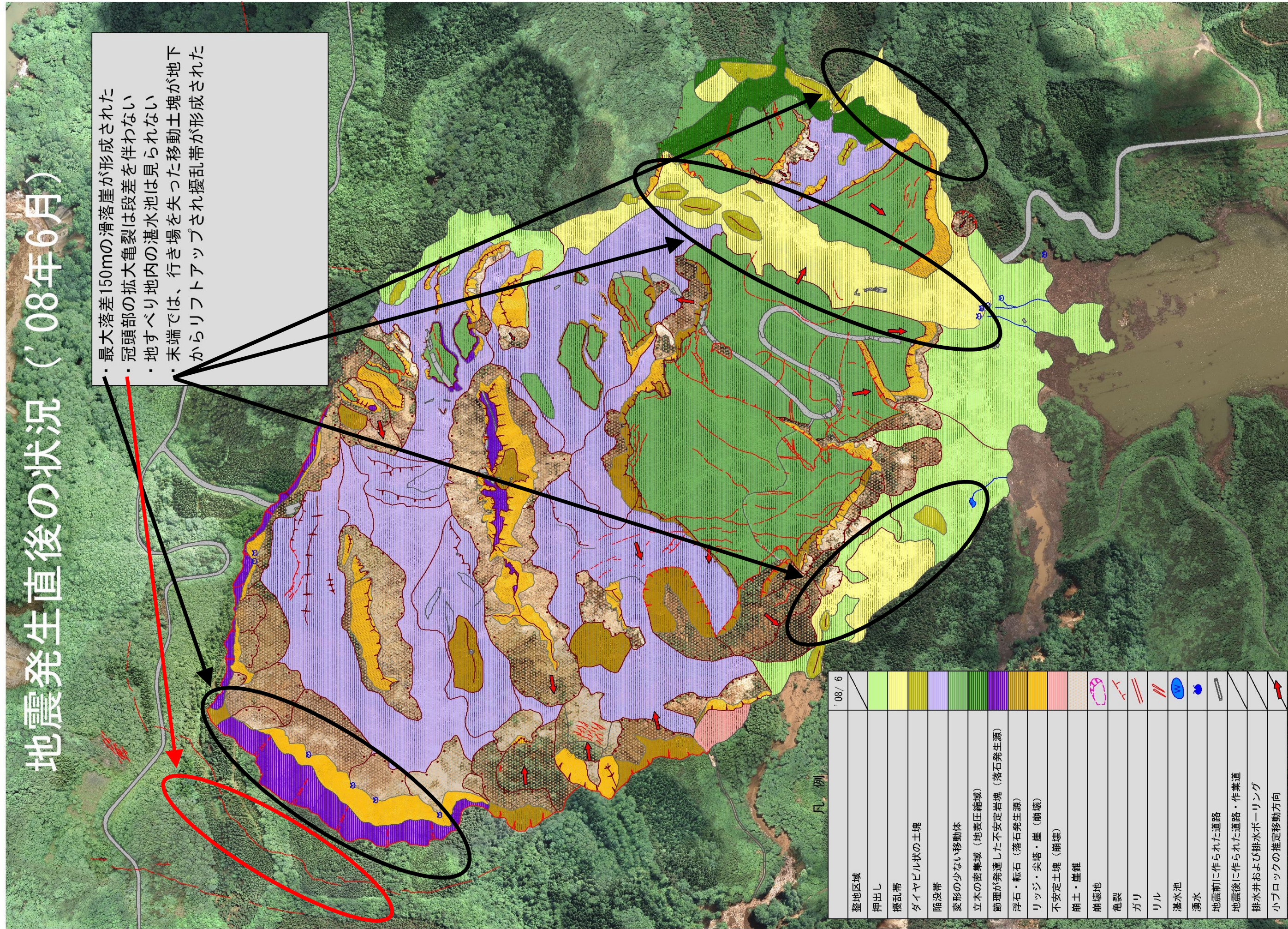


1. 現地調査結果（地すべり発生から 1 年後の現況）

1. 1 地すべり発生から 1 年後の現況

地震発生直後の状況（'08年6月）

- ・最大落差150mの滑落崖が形成された
- ・冠頭部の拡大亀裂は段差を伴わない
- ・地すべり地内の湛水池は見られない
- ・末端では、行き場を失った移動土塊が地下からリフトアップされ擾乱帯が形成された



整地区域	'08/ 6
押出し	
擾乱帯	
ダイヤビル状の土塊	
陥没帯	
変形の少ない移動体	
立木の密集域（地表圧縮域）	
節理が発達した不安定岩塊（落石発生源）	
浮石・転石（落石発生源）	
リッジ・尖塔・崖（崩壊）	
不安定土塊（崩壊）	
崩土・崖錐	
崩壊地	
亀裂	
ガリ	
リル	
湛水池	
湧水	
地震前に作られた道路	
地震後に作られた道路・作業道	
排水井および排水ボーリング	
小ブロックの推定移動方向	

地震発生直後の状況（'08年6月）

0 25 50 100 m

地震発生から1ヶ月後の状況（'08年7月）

- ・ 滑落崖では小規模崩壊や落石が頻繁に発生し、崖錐が拡大した
- ・ 冠頭部の拡大亀裂は、平均で5～6m程度沈下した（6月15日～7月19日のLP比較）
- ・ 拡大亀裂に設置した伸縮計の伸び量は7月中旬で約10mm/日（水平・鉛直移動量）
- ・ 地すべりの右岸側に湛水池が形成され始める

凡 例	'08/7
整地区域	
押出し	
擾乱帯	
ダイヤビル状の土塊	
陥没帯	
変形の少ない移動体	
立木の密集域（地表圧縮域）	
節理が発達した不安定岩塊（落石発生源）	
浮石・転石（落石発生源）	
リッジ・尖塔・崖（崩壊）	
不安定土塊（崩壊）	
崩土・崖錐	
崩壊地	
亀裂	
ガリ	
リル	
湛水池	
湧水	
地震前に作られた道路	
地震後に作られた道路・作業道	
排水井および排水ボーリング	
小ブロックの推定移動方向	

地震発生から1ヶ月後の状況（'08年7月）



0 2550 100 m

地震発生から1年後の状況（'09年9月）

- ・ 滑落崖や崖錐は、2008年7月からやや拡大するものの、大きな変化は見られない
- ・ 冠頭部の拡大亀裂は、落差が大きくなっており5m程度沈下している箇所もある
- ・ 軽石凝灰岩にはリルやガリが形成される
- ・ 旧陥没帯堆積物は、マトリックスが洗われ岩塊が斜面内に浮き出す
- ・ 地すべり地内の湛水池は陥没帯、両側壁、末端に形成される
- ・ 末端では整地工が進捗している

凡 例	'09/ 9
整地区域	
押出し	
擾乱帯	
ダイヤビル状の土塊	
陥没帯	
変形の少ない移動体	
立木の密集域（地表圧縮域）	
節理が発達した不安定岩塊（落石発生源）	
浮石・転石（落石発生源）	
リッジ・尖塔・崖（崩壊）	
不安定土塊（崩壊）	
崩土・崖錐	
崩壊地	
亀裂	
ガリ	
リル	
湛水池	
湧水	
地震前に作られた道路	
地震後に作られた道路・作業道	
排水井および排水ボーリング	
小ブロックの推定移動方向	

踏査実施日：2009年8月31日～9月5日



0 25 50 100 m